

カリキュラムとGraduation Policy(GP)との相互依存関係一覧表

記入者名	
記入年月日	2009/3/31
学部・研究科名	山口大学 経済学部
学科・専攻等名	経営学科
コース等名	商業教員養成課程

学部・研究科の教育目的(具体的に記述・箇条書き)		学科・専攻科等の教育目的(具体的に記述・箇条書き)										
1. 「発見し、はぐくみ、かたちにする」を体現する人材を育成する。 2. 自ら問いを見だし、見出した問いを自らの中にはぐくんで解決の方策を探求したり、あるいは自ら進むべき道を模索したりすることのできる人材を育成する。 3. 探求や模索の結果得られた知見や考えを生かす能力を養い、世界や社会に貢献し得る実践的経済人を育成する。		1. 企業行動に伴って生起する諸問題を理解し、解決に至る道筋を考える基礎的な力を身につけ、経営、情報、会計、流通などの分野で社会に貢献できる人材を育てる。 2. <商業教員養成課程の教育目的(1)> 商業に関する専門的知識を養い、自己学習や課題解決及び新しい発想に意欲的に取り組む商業教員を養成する。 3. <商業教員養成課程の教育目的(2)> 地域への社会参加を通して、社会的倫理観、責任感、公共心及び正義感を身につけた人材を育成する。										
学部・研究科等のカリキュラム		学科・研究科等のGraduation Policy(GP) (◎=GP達成のために、特に重要な事項、○=GP達成のために、重要な事項、△=GP達成のために、望ましい事項)										
授業科目名	授業科目の主題(箇条書き) (この授業科目における中心となる題目・問題・テーマ等を箇条書きに記入する。)	授業科目の到達目標(箇条書き) (この授業科目の学習後に到達すべき最低限の(行動)目標を学生が主語で行為動詞を使用して箇条書きに記入する。)	A. ミクロ経済学、マクロ経済学、政治経済学、簿記、あるいは経営学をはじめとする専門的知識を修得し、企業行動に伴って生起する諸問題を理解することができる能力を身につける。	B. 商業に関する専門的知識を身につけている。	C. 自己学習や課題解決ができ、新しい発想に意欲的に取り組み姿勢を持っている。	D. 地域への社会参加を通して、社会的倫理観、責任感、公共心及び正義感を身につけている。						
会計学	1. 会計と社会の関係を理解させる。 2. 財務諸表を読む基礎を理解させる。 3. 原価配分と収益基準の学習	1. 会計原則の理解 2. 現行の取得原価主義会計の理解 3. 財務諸表分析の基礎を身につける。	○	◎	○	○						
簿記1	1. 会計の基礎を学習する。 2. 複式簿記の基礎を勉強する。	1. 財務諸表の損益計算書と貸借対照表の関係の理解 2. 原価配分・期間配分の理解 3. 精算表を作成できるようにする。	○	◎	○	○						
簿記2	1. 株式会社会計の基礎を学習する。 2. 信用取引を学習する。 3. 有価証券等を学習する。	特殊商品売買・有価証券・手形・荷為替手形・繰延資産・税金・株式会社会計の基礎を理解する。	○	◎	○	○						
工業簿記	1. 工業簿記の基本概念を概説する。	1. 製品やサービスを作るプロセスを貨幣価値で表現する考え方や手法を身につける。 2. 日商簿記検定試験2級レベルの計算手法を身につける。	○	◎	○	○						
原価計算論 I	1. 原価の概念を説明すること。 2. 原価計算の目的や仕組みを説明すること。 3. 個別原価計算と総合原価計算について説明すること。 4. 減損、仕損品等が生じる場合の製品原価の計算方法を説明すること。 5. 結合原価の処理方法を説明すること。	1. 原価の概念を理解すること。 2. 原価計算の目的や仕組みを理解すること。 3. 個別原価計算と総合原価計算について理解すること。 4. 減損、仕損品等が生じる場合の製品原価の計算方法を理解すること。 5. 結合原価の処理方法を理解すること。	○	◎	○	○						
GP項目別到達度判定方法(具体的に記述・箇条書き)												

総合的GP到達度判定方法(具体的に記述・箇条書き)

--	--